

## はじめに…



この体験談集の出版に当たり、まず感謝申し上げなければならぬ方は、今は亡き東原隼一ドクターでございます。東原先生は、当会の前身である自然医学研究会を立ち上げ、77歳からその生涯を閉じられるまでの10年間、ガンや難病の方々のために、全国を周り無料健康相談会を開き、乳酸菌発酵液の使用法を指導され効用を広めて下さいました。

次に、腸内細菌学の世界的権威であり、バイオエニックスの命名者であられる東京大学名誉教授・光岡知足先生に感謝申し上げます。光岡先生には、10数年に及ぶ製品開発のご指導を頂き、乳酸菌発酵液がバイオエニックス分野に属する機能性に優れた健康食品である事を理論付けて下さいました。

また、昨年、高機能乳酸菌の効力を発見し、麴乳酸菌発酵液の開発に成功された光岡先生の愛弟子である喜源テクノさかき研究室室長・中山雅晴博士の研究成果に敬意を表します。

最後に、54例に及ぶ貴重な体験談を寄稿下さった乳酸菌発酵液愛用者の皆様に心より御礼申し上げます。

この体験談集が病苦で悩まれている多くの方々のお役に立つことを心から願っております。

平成20年3月 バイオエニックス研究会「励ます会」 会員一同

乳酸菌発酵液はバイोजェニックス

東京大学名誉教授・光岡知足博士

臨床体験例

- 重篤状態だった主人に起きた劇的な変化、そして奇跡 K・Sさん(静岡県・69歳)
- 娘婿が大量出血で意識不明ダチョウの卵大の腫瘍を取る大手術に 神田洋子さん(神奈川県・64歳)
- 私の体はエレファントマン 大切な人に導かれた一本の贈り物 市村郁子さん(埼玉県・69歳)
- 飲み続けること、信じ続けること 丸山久美子さん(東京都・66歳)
- 生きる喜びを実感 「100歳元氣」を目指しています 河島達郎さん(岐阜県・82歳)
- 1番大切なことは「いい」と思ったら信じ続けること 乙部レイ子さん(北海道・75歳)
- 病氣と上手に付き合っています 小野弓子さん(千葉県・64歳)
- 抗ガン剤の副作用から守ってくれた乳酸菌発酵液 山田嘉子さん(岐阜県・65歳)
- 膀胱ガンによる血尿との闘い 成岡 務さん(静岡県・74歳)
- 膀胱ガンを克服し今は”歌”でボランテニア活動 平口栄志さん(埼玉県・77歳)
- 人生に輝きを与えてくれた乳酸菌発酵液 榎淵 實さん(千葉県・78歳)
- 末期の肺ガンを克服 福井 満さん(愛知県・72歳)
- 乳酸菌発酵液と”仲間”という名の宝物に支えられ、感謝の日々 河野正子さん(茨城県・62歳)
- 乳酸菌発酵液とお仲間が生きる力です 中島栄子さん(東京都・74歳)
- 鶏の卵大もあつたはずの腫瘍が… 川邊千鶴子さん(東京都・70代)
- 私に幸運をもたらした人との出逢いと乳酸菌発酵液 元木久子さん(東京都・65歳)

家族を残して死ねない！絶望の淵から私を救ったものは… 小島原洋子さん(福島県・57歳)

宝塚で培った精神力と乳酸菌発酵液で乳ガンに立ち向かいました 木暮成子さん(東京都・59歳)

卵巣ガンと診断されて7年…今の私はスーパーウーマン 芳賀節子さん(神奈川県・50代)

子宮体ガン消失という奇跡を体験して 酒井久子さん(神奈川県・63歳)

諦めていた孫との対面を叶えてくれた乳酸菌発酵液 原 正子さん(茨城県・56歳)

難病・奇病と言われた息子の病を克服 飛世正子さん(埼玉県・70歳)

私の健康観と一致した乳酸菌発酵液 辰巳佳樹さん(神奈川県・67歳)

焦らず、ゆつくり、乳酸菌発酵液と共に… 坂本和子さん(千葉県・61歳)

長年にわたり病と苦闘した主人が80歳の今、現役で活動できる喜び 笹木正子さん(神奈川県・78歳)

尽くすだけの人生にさようなら気持ちも体も、前へ前へと 添野喜代子さん(千葉県・62歳)

お寿司がひと口で食べられる！あの時の嬉しさは今も忘れません R・Mさん(千葉県・54歳)

微量のC型肝炎ウイルスが消えた?!息子の花粉症も軽症に 剣持邦子さん(東京都・58歳)

乳酸菌発酵液のお蔭で仕事も体も快調!! 室橋輝子さん(静岡県・57歳)

以前とは違い病に前向きな自分になりました 小浦艶子さん(山形県・73歳)

私は胃に出来た無数のポリープが消え主人は前立腺ガンの数値が下がりました 嶋村さん(岐阜県・76歳)

女神様が舞い降りた?これまでの労苦が報われる思いです 原崎つや子さん(静岡県・59歳)

腸が弱く、ストレスにも弱いでも、私には麹乳酸菌発酵液がある! T・Kさん(神奈川県・42歳)

絵に描いたような本当の話嘘のように咳が止まりました 小山明良さん(群馬県・50代)

息子と一緒に苦しんだあの頃に もう二度と戻りたくない 朝比奈和子さん(静岡県・66歳)

感謝の気持ちと乳酸菌発酵液で乗り越えた卵巣のう腫 高橋和子さん(千葉県・56歳)

5つの病院を奔走した怒濤の2ヶ月間今は、ただ面食らっています T・Nさん(埼玉県・59歳)

乳酸菌発酵液がコウノトリ?やつと子宝に恵まれました 河野口和里さん(神奈川県・43歳)

「生きる喜び」に包まれて…:乳酸菌発酵液が人生を変えました 野村好美さん(愛知県・72歳)

7年間、乳酸菌発酵液から遠ざかるも今、再び「良さ」を再確認 内山三恵子さん(千葉県・56歳)

いつまでも、この幸せを 金森 義さん(石川県・82歳)

乳酸菌発酵液で明るい笑顔 角田美代子さん(群馬県・52歳)

苦痛から開放され毎日が夢心地になりました 白土八重子さん(東京都・69歳)

”病氣”という暗いトンネルの先には、健康が待っていました 山崎和子さん(北海道・79歳)

「私たち、血圧に変化がありました!」丸山桂子さん(千葉県・66歳・車田絹さん(千葉県・75歳)

法本トモ子さん(神奈川県・57歳)・T・Tさん(愛知県・70代)・灰賀恵美子さん(神奈川県・64歳)

これは凄い!最高の止血剤と湿布を見つけました 千原嘉斎さん(東京都・56歳)

「お蔭さまです」乳酸菌発酵液 細野麗子さん(神奈川県・59歳)

片足切断まで覚悟した、交通事故を乗り越えて 二宮まき子さん(東京都・48歳)

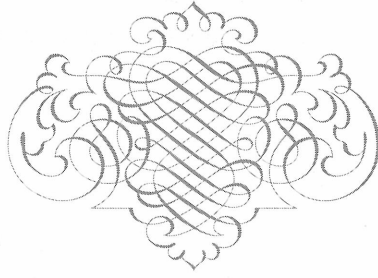
「痔」がすっかり良くなりました カルロス日垣さん(東京都・68歳)

私の乳酸菌発酵液クッキング 岸川美佐子さん(佐賀県・61歳)

## 乳酸菌発酵液の飲み方

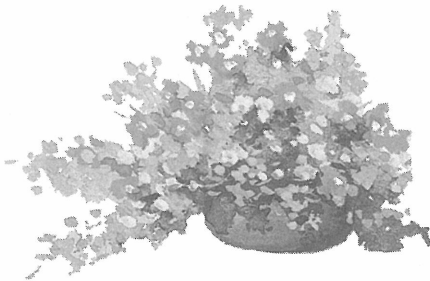
※東原準一監修『東原先生と乳酸菌生産物質』より抜粋

乳酸菌発酵液の誕生に携わった先生方



バイオジェニックス

ありがとう



～乳酸菌発酵液・麹乳酸菌発酵液編～

# 発酵液はバイオジェニックス

東京大学名誉教授 光岡知足 博士

乳酸菌発酵液は大豆をベースに黒糖などを加えた特殊な培地に、選び抜かれた複数の乳酸菌を接種し、長時間発酵した後、濃縮して作られます。大豆は良質のタンパク質であるばかりでなく、骨粗鬆症や前立腺がんを予防するイソフラボンという機能性成分を含み、黒糖は神経細胞に働くカリウムを多く含んでいます。このような培地を用いて乳酸菌を長時間培養した乳酸菌発酵液は、他に見られない優れた働きをもった機能性食品です。

これまで、私たちがヨーグルトなどの乳酸菌の作用として認識してきた保健効果の多くは、生きた乳酸菌が腸内に到達して増殖するときの効果だと考えていたのではないのでしょうか。しかし、実は、外から摂取した乳酸菌はそれほど増殖できるものでなく、棲みつくことはほとんどありません。その効果は、本当は、乳酸菌の菌体成分や代謝産物の効果だったのです。

現在、腸内環境を改善させる機能性食品は、プロバイオティクス、プレバイオティクス、バイオジェニックスに分類されます。プロバイオティクスは、乳酸菌の生菌や生菌製剤を摂取することで、腸内環境を改善させる考え方であり、オリゴ糖などのように腸内の善玉菌であるビフィズス菌のエサとなるような物質を摂取することで、腸内環境を改善しようというのがプレバイオティクスの考え方です。これに対し、バイオジェニックスは、乳酸菌発酵液のように、腸内細菌のバランスを改善させると同時に、腸管免疫を介して疾病の予防や回復に直接作用するという考え方です。

バイオジェニックスの働きが、プロバイオティクスやプレバイオティクスの働きと大きく異なる点は、後者が腸内フローラを改善させることで疾病に間接的に働きかけるのに対して、前者では腸内フローラを改善させるだけでなく、腸管免疫や生理活性作用を介して疾病に直接働きかけることにあるのです。従って、疾病に対して直接的・間接的の両面から効

果を発揮するのがバイオエニックスです。そのため、抗ストレスをはじめとする生体調節機能や、免疫賦活・抗アレルギーといった生体防御機能、抗腫瘍効果、血圧降下や血糖低下作用、コレステロール低下作用に代表される疾病予防や疾病回復作用など、幅広い機能が期待できるのです。乳酸菌発酵液の一番の働きは「免疫系」すなわち、体の抵抗力を高めることです。これは感染症やガン、アレルギー、花粉症などに効果が期待できるでしょう。また、「神経系」への働きかけでストレスの抑制、「内分泌系」への働きかけで老化の予防にも役立ちます。

## 私の乳酸菌発酵液体験談

私は平成14年7月19日に「特発性間質性肺炎」と診断され、即日入院しました。特発性間質性肺炎とは、原因不明の間質性肺炎のことで、間質性肺炎患者の生存率は10年で10%以下と言われている難病です。

入院直後から、治療にはステロイド30ミリ投与を10日ほど続けましたが、症状はあまり改善されないため、今度はステロイドパルス療法で5000ミリの投与を3日間受けました。5000ミリ投与は大変量が多く、生命の危険が伴います。しかし、量を増やしたためか、病状は徐々に良くなり、幸い、1ヶ月後の8月21日には退院。ただ、ステロイドは直ぐに断つてはいけない薬なので退院後も徐々に量を減らしての投与が続き、1年1ヶ月後の平成15年9月によりやくステロイドを完全に止めることができました。

間質性肺炎の診断基準の1つにKL-6という数値がありますが、健康な状態では500 U/ml以下とされています。私の場合は入院時には3000まで上がっていたそうです。

この図は、退院後の平成15年6月から平成19年10月までの定期検診日におけるKL-6の推移グラフです。入院当初から平成14年の9月まではKL-6は直線的に下がったようですが、それ以降は動きが悪くなりました。正常値ぎりぎりの所まできているのに、それ以下にはならない状態が続いた頃、2種類の健康食品を摂り始めました。すると、はじめは少し効いたよう

でしたが、納得のいく効果は現れず、数値は「進退」を繰り返して、再びKL-6が657まで上がってしまいました。そこで私が助言して開発した乳酸菌発酵液の「特濃」に変えてみると、今までとの違いが明確に出たのです。見事に正常値の500 U/ml以下に数値は下がりました。以後、今日まで「特濃」を摂りつづけているお蔭で、図に示すように、正常値範囲内におさまっています。平成19年5月からは「麹乳酸菌発酵液」も加えて摂っていますと、KL-6が正常値に安定しているだけでなく、痰の出る量が減ってきたのに、我ながら驚いています。このようにして、私は、乳酸菌発酵液の「特濃」や「麹乳酸菌発酵液」の素晴らしさを、身をもって体験することができました。

